

■ 「自覚せる婦人」の育成

# 川村 文子

かわむら ふみこ

出身地 藤里町

1875年（明治8年）～1960年（昭和35年）

関東大震災（1923年）の惨状に直面。信念をもち自覚した女性を育成するため、川村女学院を創立する。「感謝の心」をもつ良妻賢母の養成、現代生活に適応した専門的技術の習得をめざす女子教育に専念する。



## 年譜

- 1875年 藤里町に生まれる。旧姓・武田、幼名・フミコ。
- 1894年 秋田県尋常師範学校卒業。土崎尋常高等小学校訓導。保戸野尋常高等小学校訓導。
- 1895年 依願休職。
- 1897年 川村竹治と結婚。
- 1924年 私立川村女学院設立。院長。
- 1943年 財団法人川村女学院理事長。
- 1951年 学校法人川村学園理事長。藍綬褒章を受章。
- 1960年 東京都で没。85歳。